



豊畑和進

令和5年7月3日発行 No. 5

児童数 169名

学級数 9 (3)

HPへはここからどうぞ



豊畑小 学力向上の取組を紹介します 校長 木内 靖

GIGAタブレットなどICT機器の積極的な活用

市から貸与されている児童用 GIGA タブレットを、日常の授業の中で、調べ学習や意見の発表・検討・まとめなどに積極的に活用するとともに、実物投影機やデジタル教材などを適宜組み合わせることで児童の意欲を引き出し、理解の促進につなげます。あわせて適切なノート指導も継続し、従来の学習が持つ良さも大切にしていきます。

朝自習の時間を使った計画的な学習と家庭学習の推進

木曜を除く週4回、1回10分と短時間ですが、国語、算数のドリル学習や視写、県作成のプリント「ちばっ子チャレンジ100」などを計画的に実施し、学習の基礎・基本の定着を図る時間を設けています。また、学年ごとに「家庭学習の手引き」を発行し、ご家庭でも家庭学習の充実に協力していただいています。

授業規律を確立し、集中して取り組める環境づくり

児童が授業の見通しを持ちやすくするよう工夫したり、「学習問題」や「まとめ」が一目でわかるようにしたりするなど「わかる授業」の実践をはじめ、授業中の姿勢や発表のしかた・聞き方などを丁寧に指導し、児童が落ち着いた環境で、安心して授業に集中できるよう努めています。

理科専科やALT、ATによる専門的な授業の実施、市教諭補助員やICT支援員等によるきめ細やかな指導・支援

本年度、県教委から理科専科の先生を週3日配置していただいています。また、市教委からはICT支援員や外国語学習のためのALT、AT（英語教諭補助員）、2名の教諭補助員を配置していただき、専門的な学習やきめ細やかな指導・支援を行います。

市図書館司書の配置による図書室の整備・充実と読書活動の推進

週1回（6月までは2回）、市から図書館司書が来校し、図書室の整備の他、図書室活用の指導、図書の貸し出し啓発、児童への読み聞かせなどを実施してくださっています。

「親子で働く集い」への参加・協力ありがとうございました

6月4日（日）、今年度1回目の「親子で働く集い」を実施し、多くの保護者の皆様、児童の皆さんに校地内の草刈りを中心に協力いただきました。

当日はPTA本部や施設厚生委員会の皆様を中心に早朝より準備や作業に取り組んでいただいたおかげで、円滑に運営することができ、校地内も見違えるようにきれいになりました。



PTA会長の 様による挨拶
多くの皆様にご協力いただきました

6年生が修学旅行に行ってきました

6月22日（木）・23日（金）と、6年生が神奈川県の大磯、箱根を中心とする修学旅行に行ってきました。コロナ禍では様々な制限がありましたが、今回からはそうした制限もなく、バス内でのレクやおやつタイム、またホテルでの食事や部屋でのリラックスタイムなど、大いに楽しんでいる様子が見られました。また、大磯では事前にグループごとに立てた計画に沿ってグループ別行動を行い、箱根では関所や大涌谷の見学、海賊船に乗っての芦ノ湖遊覧など、学習・観光としても充実した2日間を過ごすことができました。

当日までの健康管理をはじめ、旅行の実施にご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



4年生を対象に「人権教室」を実施しました

市の人権擁護委員で、本校でもかつて校長先生としてご活躍された 鈴木 志敏 先生を講師にお招きし、6月14日（水）に4年生を対象に「人権教室」を実施しました。当日は、「いじめ」をテーマにした映像教材をもとに、「いじめられた主人公の気持ち」や「いじめを自分たちで解決できた理由」などを考え、最後に「いじめをなくすために自分たちができること」を各自で書き、発表しました。4年生からは「自分たちができること」として、

- ・人の気持ちを考えて行動する
- ・相手がいやがることをしない
- ・いじめられている人を見たら、ただ見ているだけでなく寄り添うなどの意見が出されました。

積極的に発言する姿が多く見られ、最終的に一人一人の意見を1枚の模造紙にまとめました。この模造紙は学級掲示物として、今後4年生があたりかな心で学校生活を送るための道しるべとなることでしょう。



ペだるこぐ ぼくのあいぼう へるめっと 夏の交通安全運動スローガンです

7月10日（月）～19日（水）の10日間、夏の交通安全運動が実施されます。道路交通法が改正され、今年の4月1日より、全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。学年に応じて学校が定めている移動可能範囲を参考に、ご家庭でもヘルメットの着用をはじめ、安全な自転車の利用についてご指導ください。



（お知らせ）

- ・先月より月行事予定は別途 tetotu で配信していますので、本紙では本号より省略します。
- ・6月分の読書賞受賞者は、次号（夏休み前に発行予定）で紹介します。